

令和 2 年度愛知県立芸術大学音楽学部一般入試
試験内容及び試験曲

1. 専攻別実技試験

作曲専攻 作曲コース

- (1) 4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか1題が課せられます。）……………所要時間：3時間
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由（ピアノ使用可）……………所要時間：6時間
- (3) 上記の課題（1）、（2）に関する解説

作曲専攻 音楽学コース

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……………所要時間：論述2時間及び口述試問所要時間
- (2) 外国語（英、独、仏から1科目）。解釈の能力を問う試験。……………所要時間：1時間

声楽専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず2つ以上のグループから、合計4曲を選び、曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち1曲を当日指定します。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

a. 『イタリア歌曲』グループ

1.	V. Bellini	Ma rendi pur contento	(Ges, As)
2.	V. Bellini	Vaga luna, che inargenti	(G, As, C)
3.	G. Bononcini	Per la gloria d'adorarvi	(Es, F, G)
4.	A. Cesti	Intorno all'idol mio	(d, e, f)
5.	F. Durante	Vergin, tutto amor	(h, c, d)
6.	G. Giordani [T. Giordani]	Caro mio ben	(Des, Es, F)
7.	G. B. Pergolesi [A. Parisotti?]	Se tu m'ami	(es, f, g)
8.	A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	(G, As, B)
9.	A. Scarlatti	Se Florindo è fedele	(G, As, B)
10.	A. Scarlatti	Se tu della mia morte	(f, g)

b. 『ドイツ歌曲』グループ

11.	J. Brahms	Dein blaues Auge	(D, Es)
12.	F. Mendelssohn Bartholdy	Auf Flügeln des Gesanges	(F, G, As) 第1節及び第3節
13.	F. Schubert	An die Musik	(B, C, D, E)
14.	F. Schubert	Frühlingsglaube	(F, G, As)
15.	F. Schubert	Seligkeit	(C, D, E) 第1節及び第2節

c. 『日本歌曲』グループ

16.	小松 耕輔	母	(F, G, As, A)
17.	中田 喜直	風の子供	(B, Des)
18.	成田 為三	浜辺の歌	(F, As, A) 第1節及び第2節
19.	信時 潔	北秋の（「沙羅」より）	(Des, D)
20.	山田 耕筰	かやの木山の	(C, D)

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。
大文字は長調、小文字は短調を示します。
- 『イタリア古典歌曲』については、基本的に全音版（畑中良輔 編）を使用します。
上記の [] 内の作曲者名は、その第1巻新版（2012年11月刊）によるものです。
- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。（前掲の課題選択曲の中から提出する事も可）原則として、曲目提出後の変更は認めません。

所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

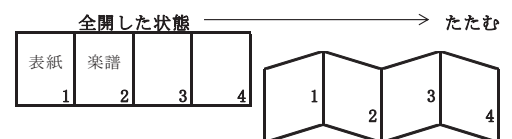
歌曲（一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner : Chorübungen I No. 37 a) ~No. 77 d) の中から1曲を試験の際に指定します。大阪開成館発行『全訳コールユーブンゲン』（信時潔 訳）を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
- 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。
- 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。（鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。）
- 4) 提出楽譜には、1曲ごとに指定された大きさの表紙を付け、「提出楽譜表紙添付票」に必要事項（氏名、声種も忘れずに）を記入し、それぞれの表紙の左上隅に貼り付けてください。
- 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。

以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



器楽専攻 ピアノコース

課題曲：

- ① J. S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集第1巻または第2巻より任意の1曲
- ② F. Chopin: 練習曲集 Op.10 または Op. 25 より任意の1曲
- ③ L. v. Beethoven: ピアノ・ソナタより任意の1曲（全楽章）
- ④ 1945年までに作曲された任意のピアノ独奏作品（複数曲も可）※

※出版された作品に限ります。

※①②③で選択した曲と内部奏法等の特殊奏法を用いた作品を除きます。

※ソナタ・組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めません。

第1次試験

2会場で実施します。

A会場 ①と②を演奏してください。①と②の演奏順は自由です。ただし、①はプレリュードから演奏してください。

B会場 ③のソナタの第1楽章を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109を選択した場合は、第1楽章と第2楽章を演奏してください。

第2次試験

1会場で実施します。

③のソナタの第2楽章以降を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109を選択した場合は、第3楽章以降を演奏してください。

その後、④を演奏してください。

第1・2次試験 共通

- ・全曲暗譜で演奏してください。
- ・繰り返しなしで演奏してください。（ただし24小節以内の繰り返しは自由）
- ・実技試験進行の都合により演奏を途中でカット、または演奏箇所を指定する場合があります。
- ・曲目提出用紙は、入学願書の提出書類とともに提出してください。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

器楽専攻 弦楽器コース

器楽専攻弦楽器コース共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻弦楽器コース提出用紙について（入学願書の提出書類とともに提出してください。ハープを除く。）

- ・ ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの受験者は、提出用紙に、課題曲 b) 及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望（ヴィオラ）の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に○を付けてください。
- ・ 原則として、曲目提出後の変更は認めません。

ヴァイオリン

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より

a-moll No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) 次の4つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont: 24 Etüden und Capricen Op. 35

P. Rode: 24 Capricen

P. Gaviniès: 24 Etüden

N. Paganini: 24 Capricen Op. 1

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

ヴィオラ

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より

任意の調性 No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) B. Campagnoli: 41 Caprices もしくは J. Palaschko: 20 Studies Op. 36 より任意の1曲

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴィオラ協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb: Gammes et arpèges より

D-dur 4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を、4つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを、3つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を、スラー無しのレガートで。

b) J. L. Duport: The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の1曲

(2) 自由曲

古典派以降のチェロ協奏曲(カデンツァを含む)もしくは古典派のチェロソナタより任意の楽章。

コントラバス

(1) (2) 共にオーケストラ・チューニングで演奏してください。

(1) 課題曲

a) 音階 C-dur 2 オクターブ 譜例参照

The image shows five staves of musical notation for a double bass exercise. The first staff is in C major, 2/4 time, starting with a quarter note C2 and followed by eighth notes up to C4, then quarter notes down to C2. The second staff continues the scale up to C5. The third staff continues the scale up to C6. The fourth staff continues the scale up to C7. The fifth staff continues the scale up to C8. The notation includes various articulation marks like accents and slurs.

b) F. Simandl: 30 Etudes for string bass より No. 17、18、25、26 の中から任意の1曲

(2) 任意の自由曲

ハーブ

ハーブ受験者は、本学で用意した楽器で演奏します。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes Cinquante Etudes Op. 34 第1巻より No. 1 及び No. 10

b) F. J. Naderman: 7 Sonates progressives より No. 7 Prélude と Sonatina

(2) 自由曲はありません。

器楽専攻 管打楽器コース

器楽専攻管打楽器コース共通事項

- ・課題曲等について、暗譜の要否の記載がない場合は、暗譜の必要はありません。
- ・第2次試験の伴奏者については、本学で用意します。
- ・第2次試験の初見の問題例は、以下のとおりです。

管打楽器コース第2次試験 初見 問題例

Clarinet in B^b

♩ = ca.96

mp

Detailed description: A single staff of music in treble clef with a key signature of one flat (Bb) and a common time signature (C). The tempo is marked as ca. 96. The piece begins with a mezzo-piano (mp) dynamic. The melody consists of eighth and sixteenth notes, with some slurs and ties.

Bassoon

♩ = 54

mp *cresc.*

Detailed description: A single staff of music in bass clef with a key signature of two sharps (D major) and a 3/8 time signature. The tempo is marked as 54. The piece starts with a mezzo-piano (mp) dynamic and ends with a crescendo (cresc.) dynamic. The melody features eighth and sixteenth notes with some slurs.

Horn in F Trumpet in B^b

♩ = 112

f

Detailed description: A single staff of music in treble clef with a key signature of one flat (Bb) and a common time signature (C). The tempo is marked as 112. The piece starts with a forte (f) dynamic. The melody consists of quarter and eighth notes with some slurs.

Snare Drum

♩ = 88 ca.

f *mp*

Detailed description: A single staff of music in a drum set notation with a 2/4 time signature. The tempo is marked as ca. 88. The piece starts with a forte (f) dynamic and ends with a mezzo-piano (mp) dynamic. The notation includes triplets and slurs.

フルート

第1次試験

(1) 課題曲

- a) 下記の5曲より当日指定します。(繰り返しなし、版の指定はしません)

Ernesto Köhler: 35 Exercises for Flute Op. 33 Book 2, 12 Medium Difficult Exercises より

No. 5、8、10

J. Andersen: 24 Studies Op. 21 より No. 10、24

- b) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。選択した曲の番号は、受験票および受験者写真票の「区分」欄に、楽器種別とともに記入してください。(例：フルート①)
原則として、曲目提出後の変更は認めません。

① E. Bozza: Image 冒頭～2ページ3段目 Lento 後のフェルマータまで (Leduc 版)

② A. Honegger: Danse de la Chèvre 冒頭～48小節目まで (版の指定はしません)

③ J. Ibert: Piece pour Flute Seule 冒頭～59小節1拍目まで (版の指定はしません)

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

W. A. Mozart: Concerto in D major K. 314 より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。(共にカデンツァなし、版の指定はしません)

(2) 初見

オーボエ

第1次試験

(1) 課題曲

W. Ferling: 48 Études より

No. 21、22、23、24、25、26、27、28、29、30の中から当日指定します。

(版の指定はしません)

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. J. Haydn: Concerto より 第1楽章 (Breitkopf 版)

(2) 初見

クラリネット

第1次試験

(1) 課題曲

C. Rose: 32 Etudes より (版の指定はしません)

No. 15～No. 28 の中から当日指定します。

(2) 音階

Rolf Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1 の中から当日指定します。ただし、暗譜で演奏してください。

レガート及びスタッカートで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. Krommer: Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より第1、第2楽章
(版の指定はしません)

(2) 初見

バスーン (ファゴット)

第1次試験

(1) 課題曲

Julius Weissenborn: 50 Bassoon Studies Op. 8 Vol. II No. 1～No. 14 の中から

当日指定します。(版の指定はしません)

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

Antonio Vivaldi: Concerto in D minor Op. 45-7 (F. VIII-5) より第2楽章 (♩=ca. 66) と
第3楽章 (♩=ca. 108) (版の指定はしません)

(2) 初見

サクソフォーン

第1次試験

(1) 課題曲

W. Ferling: 48 Études より No. 5、6、13、14、19、20、21、22、29、30、31、32
の中から当日指定します。(Leduc 版)

(2) 音階

サクソフォーンのためのトレーニングブック 須川展也 編 (音楽之友社) より
①を全調より、当日指定します。

テンポは ♩ = 100 とします。

アーティキュレーションは、スラーおよびスタッカートとし、当日指定します。

暗譜で演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

A. Glazounov: Concerto en Mi ♭ Op. 109 より 冒頭から練習番号 16 まで (Leduc 版)

(2) 初見

ホルン

第1次試験

(1) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for French Horn, Book I

No. 15 は必須課題。

No. 14、17、18、28 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。Low F、B♭のフルダブルホルンを使用してください。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

W. A. Mozart: Horn Concerto No. 3 K. 447 (Bärenreiter 版)

第1楽章 (カデンツァなし)

(2) 初見

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第1次試験

(1) 課題曲

a) Arban: 14 Characteristic Etudes より No. 1、2、3、4の中から当日指定します。(ISE Collection)

b) C. Colin: Advanced Lip Flexibilities Vol. 1 より 17番 (CHARLES COLIN)

(2) 音階

Arban: Complete Grand Method 65～81 ページより当日指定します。

(ISM Collection 全音楽譜出版社)

第2次試験

(1) 課題曲

C. Saint-Saëns: Fantasia en mi bémol (Leduc 版)

(2) 初見

トロンボーン

第1次試験

(1) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. 15、26 は必須課題。

No. 13、14、17、18、20、22、23、27 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. David: Concertino in E \flat Op. 4 (Zimmermann 版) より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。

(2) 初見

バストロンボーン

第1次試験

(1) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. (19)、26 は必須課題。

No. (7)、(8)、(13)、(14)、(17)、18、20、23 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

※注 () の課題は1 オクターブ下げて演奏してください。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. David: Concerto (Concertino) in B \flat for Bass Trombone (Zimmermann 版) より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。

(2) 初見

ユーフォニアム

第1次試験

(1) 課題曲

- a) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 14、17、23、24、27、32
J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book 1 より
No. 5、8、10、16、18、20 (新版を使用してください)
 - b) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 16、22、26、37、42、49
- a)、b) より各1曲を当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

- A. Capuzzi: Andante and Rondo (from Concerto for D. Bass)
(Hinrichsen 版 1474)

(2) 初見

テューバ

第1次試験

(1) 課題曲

- a) M. Bordogni: 43 Bel Canto Studies No. 7、12、21、28
(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 2009)
 - b) C. Kopprasch: 60 Selected Studies for BBflat Tuba No. 15、18、34、41
(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278)
- a)、b) より各1曲を当日指定します。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

- J. S. Bach / William J. Bell 編曲: Air and Bourree (C. Fischer 版 No. W1647)

(2) 初見

打楽器（スネアドラム）

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参してください。

※マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。

※演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

① ルーディメンツ

Collection Drum Solos (Ludwig Masters 版) 2ページと 48ページ (No. 1 から No. 26) の中から当日指定します。

いずれも「非常に遅く→非常に速く→非常に遅く」のスタイルで演奏してください。

② All-American drummer (Ludwig Masters 版)より

Wilcoxon's 132nd、133rd、134th、135th、136th、137th、138th の中から当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

① Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版)より

【25番】および【27番、29番、30番、39番より当日指定】

② ティンパニで [楽譜B] を演奏してください。[楽譜B]

③ マリンバで音階 [楽譜C] を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

2オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階 [楽譜C]

(2) 初見

打楽器（マリンバ）

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参してください。

※マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。

※演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

① マリンバで音階 [楽譜A] を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

3オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階 [楽譜A]

② J. S. Bach: Violin Partita No. 3 in E, BWV 1006 より “Preludio”

(版の指定なし、実音で2本マレットで演奏すること)

第2次試験

(1) 課題曲

① Alfred Fissinger: Suite for Marimba より “Esch s/ Sure” と “Bastogne Convoy” (版の指定なし)

② スネアドラムで [楽譜D] を演奏してください。[楽譜D]

(2) 初見

Ⓐ

Marimba

♩ = 96

Two staves of music for Marimba in 2/4 time, tempo 96. The first staff contains a melodic line with eighth and sixteenth notes. The second staff contains a similar melodic line with a repeat sign and a final measure with a fermata.

Ⓑ

Timpani

♩ = 92

Four staves of music for Timpani in 4/4 time, tempo 92. The first staff has a trill and dynamic markings *p*, *f*, *mf*. The second staff has a trill and triplets. The third staff has triplets and trills. The fourth staff has a trill and a fermata.

©

Marimba

♩ = 96

Musical notation for Marimba, showing a sequence of eighth notes and a final measure with a whole note chord.

④

Snare Drum

5 str. 9 str. 9 str. 11 str. 11 str. Single Paradiddle Double Ratamacue

R R L L R R L L R R L L R R L R L 3 R 3

5 10 str. 10 str. Single Stroke Roll Flamaue

R L L R L R L L R L R L R L R L R L R

8 ♩ = 60 Closed Roll *tr* *p* *ff* *p* 3 *tr*

Musical notation for Snare Drum, showing various rhythmic patterns and techniques such as paradiddle, ratamacue, stroke roll, and flamaue. Includes dynamic markings (*p*, *ff*) and a tempo marking (♩ = 60).

2. 副科試験

■ピアノ（器楽専攻ピアノコースを除く。）

作曲専攻（作曲、音楽学）、声楽専攻、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。

J. S. Bach: Inventionen BWV772～786

J. S. Bach: Sinfonien BWV787～801

上記より任意の1曲を選択し、暗譜で演奏してください。（繰り返しなし）

時間の都合で演奏を一部省略することがあります。

■新曲視唱

歌詞をともしなわない初見視唱1題

■聴音

○作曲専攻作曲コース

（1）単旋律課題1題

（2）2声の旋律課題1題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

（3）4声の和声課題1題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻

（1）単旋律課題1題

（2）4声の和声課題1題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

■楽典（作曲専攻作曲コースを除く。）

音楽の学習に必要な基礎知識一般（所要時間：1時間）

令和2年度 愛知県立芸術大学音楽学部一般入試試験問題

I 和声課題 (作曲専攻作曲コース)

Alla gavotto ♩ = 42

Bass

p *mf*

5

dim. *p*

10

cresc. *mf* *ff*

15

più f *poco diminuendo e ritardando* *p*

Soprano
a tempo

20

mf *sf* *ff* *riten. -----*

II 器楽曲作曲 (作曲専攻作曲コース)

次の2つのモチーフのうち、どちらかを用いて器楽曲を作曲しなさい。
テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。

☆注

☆注

最後の音符の長さは自由。

最後のスラーをどこまで続けるかは自由。

Ⅲ 音楽学に関する基礎的試験（作曲専攻音楽学コース）

【試験問題】

問題1

30分程度の、ラジオの音楽番組を考えてください。

下記のガイドラインにそって企画内容をまとめ、解答用紙の様式に記入してください。

音楽のジャンルは問いません。

- (1) テーマ
- (2) 番組の内容（なるべく具体的に）
- (3) 番組のねらい
- (4) 想定される聴取者は、どのような人か
- (5) 放送を希望する時間帯（朝、午前、昼、午後、夕方、等）
- (6) その他（番組のアピールなど、自由に書いてください。）

文字数の制限はありません。図や表を入れてもかまいません。

問題2

音楽を聴くということは、どういうことだと考えますか。

課題文（別紙）※を参考にして、論じてください。文字数の制限はありません。

出典 山田晴通「音楽を展示する空間の持続可能性」『ポピュラー音楽再考』所収
せりか書房、2020年

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる読解力、および論述力を備えているかを問う。

Ⅳ 外国語（作曲専攻音楽学コース）

問題1

和訳してください。

出典 Simon Morrison, ed. *Sergey Prokofiev and His World*. Princeton: Princeton University Press, 2008. 裏表紙より

問題2

和訳してください。

出典 Trevor Herbert. *Music in Words: A Guide to Researching and Writing about Music*. New York: Oxford University Press, 2009. 序文より

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる外国語の能力を備えているかを問う。

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

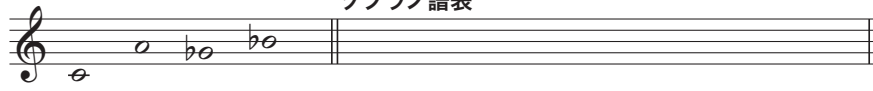
ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

V 楽典 (作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻)

【試験問題】

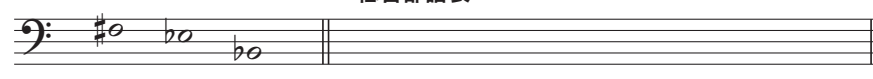
I) 次の音群を音階構成音とする調の音階を、指定された音部譜表上に調号を用いずに臨時記号で、主音から主音までの上行形を全音符で書きなさい。ただし、音階は長音階、和声短音階、旋律短音階上行形のみとする。また () にその調名を日本語で書きなさい。

ソプラノ譜表



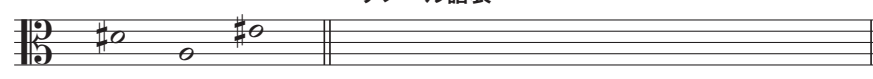
()

低音部譜表



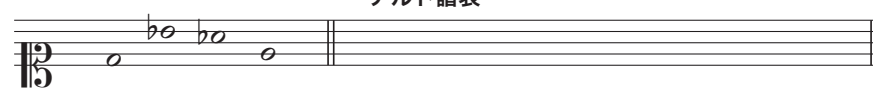
()

テノール譜表



()

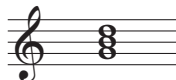






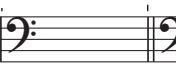




アルト譜表



()

II) 例に従って和音の基本形(原形)を上段に記入しなさい。ただし、調号は用いずに臨時記号で記すこと。また下段には、上段と共通の根音を用いて、1～3には増三和音、4～6は減三和音に変化させなさい。調号のアルファベット大文字は長調を、小文字は短調を示している。なお、短調は和声短音階を用いること。

[例]

	1	2	3	4	5	6
Staff						
Label	C: V	G: IV	d: II	Des: VI	as: IV	Cis: I
Arrow	↓	↓	↓	↓	↓	↓
Label	(増三和音に)			(減三和音に)		
Staff						

Ⅲ) 譜例(別紙)をみて以下の問いに答えなさい。

1. ①～⑥の音程を答えなさい。ただし、複音程のものは単音程には直さずに答えなさい。

2. A～Fの和音の種類を答えなさい。(例:長三和音、等)

3. ア～エは非和声音である。次の中からその名称として適当なものを選び番号で答えなさい。

1:先取音 2:掛留音 3:逸音 4:刺繍音 5:保続音 6:倚音 7:経過音

4. 以下の中に曲中には出現しない音楽用語が四つある。その番号を答えなさい。ただし、譜例中にはその記号、または略語で記されている。

1: staccato 2: crescendo 3: ritardando 4: diminuendo 5: staccatissimo 6: marcato

7: tenuto 8: mezzo forte 9: slur 10: tie 11: sforzando 12: rinforzato 13: piano

14: fortissimo

5. 以下の文章中の()に選択肢の中から適当なものを選び、その記号を答えなさい。

i) この曲はハンガリーの作曲家(①)がルーマニア民謡に取材してピアノ独奏用作品として創作した組曲の中の一曲である。オペラ『青ひげ公の城』などで著名であるこの作曲家は民族音楽学者としての一面もち、同国の作曲家である(②)とともに自国や周辺各地の民謡の調査を行った。

[選択肢] イ) ショパン ロ) ペンデレツキ ハ) コダーイ ニ) ハチャトリアン
ホ) バルトーク ヘ) スメタナ ト) ヤナーチェク チ) ドヴォルザーク

ii) 民謡を素材としているため、この曲は全体を通じて旋法的である。曲頭8小節間では旋律の終止音や1小節目のバス音から主音がA音であることが分かるが、3小節目前半まではF \sharp 音を含む上行形が、その後の下行音形ではF \sharp 音が使われているため3小節目前半までは(①)、3小節目後半からは(②)となっている。

[選択肢] イ) イオニア旋法 ロ) エオリア旋法 ハ) ロクリア旋法 ニ) リディア旋法
ホ) フリギア旋法 ト) ドリア旋法 チ) ミクソリディア旋法

iii) 30小節目と46小節目の2拍目には明確な()の機能を持つ和音が登場し、第3音が半音高められG \sharp となっている。そのためこの部分は短調を感じさせるが、メロディ部分には主音が奏されているためその機能は弱められている。

[選択肢] イ) トニック ロ) ドミナント ハ) サブドミナント ニ) ドッペルドミナント

iv) この曲の楽曲形式は()形式である。

[選択肢] イ) ロンド ロ) 複合三部 ニ) 二部 ホ) ロンドソナタ ヘ) ソナタ ト) 三部

[譜例] (別紙)

Allegro moderato ♩ = 100

1

2

A

B

3

5

11

15

f

sf

sfz

mf

v

[譜例] (別紙)

21

3

p

3

26

3

cresc. molto

f

1

32

3

7

38

3

4

p

5

6

43

3

cresc. molto

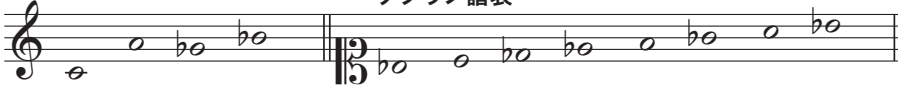
f

sf poco allarg.

【解答】

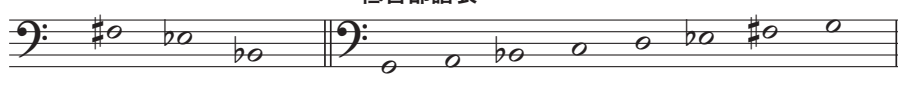
I)

ソプラノ譜表



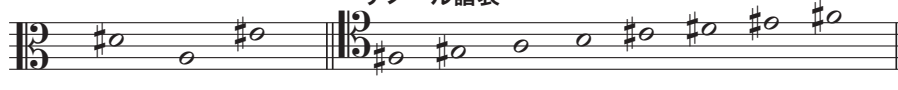
(変口短調)

低音部譜表



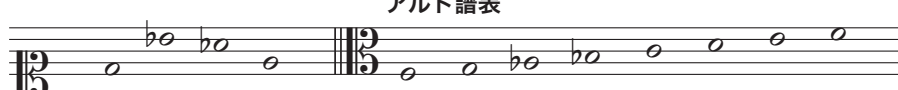
(ト短調)

テノール譜表




(嬰へ短調)

アルト譜表



(へ短調)

II) [例] 1 2 3 4 5 6



C: V G: IV d: II Des: VI as: IV Cis: I gis: V

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

(増三和音に) (減三和音に)

III)

1.

- ① 長2度 ② 短10度、または1oct.と短3度 ③ 減5度 ④ 増1度 ⑤ 減7度 ⑥ 減8度

2.

- A 短七和音 B 長三和音 C 短三和音
D 属七和音 E 長七和音 F 減五短七和音、または導七和音

3. ア 6 イ 5 ウ 4 エ 7

4. 3 6 12 14

5. i) ① ホ ② ハ ii) ① ト ② ロ

iii) ロ iv) ニ

VI 聴音（旋律）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

旋律

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

旋律

VII 聴音（2声）（作曲専攻作曲コース）

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。
20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

2声

VIII 聴音（4声）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

（最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、
通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

4声

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

（最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、
通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

4声

Ⅸ 新曲視唱

※令和2年度の試験では、「新曲視唱」の試験が中止されたため、平成31年度試験問題を掲載しております。

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

(予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。)

Moderato

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

(予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。)

Moderato